

2017（平成 29）年度にこにこ会 事業報告

はじめに

2007（平成 19）年より取り組んできました就労移行支援事業ですが、本年も休止としています。平成 31 年の更新時に廃止の方向で進める予定です。本年度も就労継続支援 A 型のみの事業でした。

平成 29 年度は“悪しき A 型”の話題に始まり、就労支援 A 型事業所がクローズアップされた年でした。国の方針では A 型は訓練機関として捉えています。実際、就労の場の提供、最低賃金の保障をうたった事業所を退職する希望者は少ないのが現実です。今年度はサービス区分間の繰り入れが無いようにと計画しましたが、採用しても障がい特性に於いては継続できにくい方が多々おられ、利用可能定員（16 名）を充足できない月もあり、給付費が目標金額には達しませんでした。就労事業においては、今年度も福山市の敬老会記念品に、また学校給食にミンチカツ・だいじょう芋入り鶏団子等利用して頂きました。売り上げは上がるものの経費・人件費等の高騰で収益は僅かとなりました。次年度は原材料等の見直しも重要となります。就労事業の収益を上げ、なお且つ障がいの特性に配慮し支援することは職員の更なるスキルが求められるものと思います。

1) 利用人数

定員 14 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	14	15	14	15	16	16	16	15	15	16	17	16

*平均年齢…33.8 歳（50 歳代 -1 人・40 歳代-4 人・30 歳代-5 人・20 歳代-5 人・10 歳代-1 人）（2018 年 3 月 1 日現在）

科目	収入額	一人当たり日額単価
訓練等給付費	28,758,100 円／年 （当初予算 29,780,000 円）	5,840 円 （サービス費）
		60 円（福祉専門職員配置加算）
		300 円（食事提供加算）
		1,000 円（施設外就労加算）
		260 円（就労移行体制加算）
報奨金 特定求職者雇用開発助 成金	2,289,000 円 633,000 円	21,000 円×109 対象 2 名
サービス区分間繰り入	1,300,000 円	にこてらすより

2) 職員配置の状況

2017 年 4 月 1 日

職名	職員数	備考	配置基準
管理者	1 名	兼務	1 以上
サービス管理責任者	1 名	常勤	1 以上
生活支援員	1 名	常勤	1.8 以上
職業指導員	1 名	常勤	
職業指導員（施設外就労担当）	1 名	常勤	0.9 以上
調理員	1 名	契約職員	1 以上

3) 昼食の提供

法人の取り組みとして別紙参照

4) 健康管理

健康診断	医療機関による健康診断（福山検診所）	7月 4日
	歯科検診	6月 21日
	インフルエンザ予防接種	11月 10日

5) 非常災害対策

消防訓練	通報・避難及び消火訓練	2018年 1月 9日
	通報・避難・消火訓練・その他	2018年 3月 30日

6) 研修

職員対象

- ・5月 28日～11月 5日（25回） 旭川荘療育アカデミー障害児（者）療育総合課程
- ・8月 21日 福山市学校給食用物資納入業者研修
- ・8月 22日 ストレスマネジメントについて
- ・9月 1日 障がい者の働く場パワーアップフォーラムin福岡
- ・10月 26・27日 広島県サービス管理責任者フォローアップ研修
- ・1月 16日 職域別給食施設研修会

内部研修

- ・事業所間交流研修 8月 28日～ 30日（にこにこ会→ほいーる）
12月 4日～ 8日（ほいーる→にこにこ会）
12月 11日～15日（にこてらす→にこにこ会）
- ・人権擁護、学習・研修---月 1回会議を持つ

従業員研修

- ・2018年 1月 7日 “夢について語ろう”（私のやりたいこと）

7) 地域との交流

- ・地域小学校の体験・見学（総合学習）の受け入れ
中条小学校 5年生…6月 5日（月） 21名+2名
湯田小学校 3年生…10月 30・31・11月 1・2日（月～木） 150名+6名
*2004年からさをり織の織体験と、にこにこ福祉会の説明を続けている
- ・チャレンジ・ウィークふくやま（中学生の職場体験）
福山市立神辺中学校…4名（8月 21～25日 2日間にこにこ会にて対応）

8) 報告

- ・商品のクレーム 4件
- ・職員の支援のクレーム 2件
- ・ヒヤリハット 14件

就労事業

1) サービス提供日数

269日

2) 従業員給料（月平均）

月平均—103,909円（2016年—100,994円）…各諸手当は除く

最低賃金 793 円→818 円 (2017 年 10 月 1 日より)

最低賃金減額特例者 1 名 最低賃金の 50% (2017 年 4 月 1 日現在) …5 月退所

3) 就労事業内容

就労支援事業収入	53,093,699 円	就労支援事業支出	52,811,198 円
たれ事業	24,528,855	原材料仕入高	23,165,473
コロッケ事業	12,300,257	労務費	22,678,380
手織・縫製事業	5,229,151	経費	6,967,345
串事業	4,188,715		
清掃事業	2,197,832	収支差額	282,501 円
牛舎清掃事業	2,536,920		
その他	2,111,969		

・たれ事業 粗利 37.7% (H28 年度 37%)

原材料の価格を抑えることが最大の課題となる。作業的には大量に注文があっても午前のみで対応し、午後は他の部署に入る。従業員も全事業を見て動きをつくる。

・コロッケ事業 粗利 60% (H28 年度 63%)

従来のミンチカツに加え、だいじょう芋入り鶏団子を新たに製造することで、学校給食への納品が飛躍的に伸びる。だいじょう芋は地産地消の作物で、門田一治氏のご協力により商品化され、にこにこ会が鶏団子を作る。だいじょう芋入り鶏団子は福山市全域の小学校 (一部中学校) に納入する。そのおかげで売り上げは大幅に伸びる。今後の課題は肉団子製造機の改良及びパン粉付けの改善。

・手織り・縫製 (さをり) 事業 粗利 63.7% (H28 年 67%)

縫製技術の高さと素早い対応が評価を得て、指名して頂く件数が増えている。従業員の縫製技術は確実に向上している。福山市の敬老会記念品に今年度も使用して頂き、売上げ増に大いに貢献して頂いた。又、地元企業との連携による情報収集は今後の活動に期待が持てる。

・串事業 粗利 94.2% (H28 年度 94%)

収入が大幅にアップとなった事業。固定の従業員を配置して対応する。又、午前・午後で作業内容が異なる人が従事する事が多い。

・清掃事業 (施設外就労対象事業)

企業内清掃のため従業員は固定している。障がいの特性に配慮しながら企業内での対応の指導を行う。

・牛舎清掃事業 (施設外就労対象事業)

作年度は 4 人態勢で対応したが、夏には従業員の体力低下の為 1 人増員する (期間限定)。2 月より他部署の従業員の体力増強の為 1 人増員。気候に左右される環境。

にこにこ会は、障がいがあっても労働者として身分を保障し、その賃金をもとに人生設計を組み立て、地域で自立した生活を送る、また社会に貢献し労働者としてのプライドを持って生きていける、その手助けができる事業所でありたいと思っています。